

平成23年度 第1四半期報告の概要

<主要指標>

・ 保険料等収入	…	1兆	821億円	(前年同期比 36.3%増加)
・ 基礎利益	…		870億円	(前年同期差 250億円増加)
・ ソルベンシー・マージン比率	…	1,	173.9%	(前年度末差 17.1ポイント増加)
・ 実質純資産額	…	3兆4,	214億円	(前年度末差 9億円減少)
・ 一般勘定資産全体の含み損益	…	1兆3,	392億円	(前年度末差 623億円増加)
・ 時価のある有価証券の含み損益	…	1兆	769億円	(前年度末差 593億円増加)

1. 契約業績

- ◇ 保険料等収入は、営業職員および銀行窓販チャネルの好調な業績により、全体で1兆821億円と前年同期比36.3%の増加
 - ・ 営業職員チャネルは、幅広い商品提案の推進とともに、契約クオリティのいっそうの改善により、前年同期比7.1%の増加
 - ・ 銀行窓販チャネルは、引き続き好調な販売業績により、前年同期比127.1%の大幅増加
- ◇ 新契約年換算保険料も、537億円と前年同期比37.1%の増加

○ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
保険料等収入	10,821	36.3%	7,937
うち個人保険・個人年金保険	8,518	51.2%	5,632
うち団体保険・団体年金保険	2,185	0.0%	2,185

・ うち営業職員チャネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
保険料等収入	3,619	7.1%	3,378

・ うち銀行窓販チャネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
保険料等収入	4,704	127.1%	2,071

○ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
新契約年換算保険料	537	37.1%	391

・ うち営業職員チャネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
新契約年換算保険料	207	2.0%	202

・ うち銀行窓販チャネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間
新契約年換算保険料	320	78.5%	179

○ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末比	
保有契約年換算保険料	18,564	1.3%	18,327

《ご参考》クオリティ指標の状況

- ◇ 解約・失効率は、営業職員によるアフターサービスの充実により、1.34%と前年同期差0.16ポイントの改善
- ◇ 総合継続率についても、13月目は前年同期差0.4ポイントの改善、また25月目も3.9ポイントの改善

○ 解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険） （単位：億円）

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期比（差）	第1四半期累計期間
解約・失効年換算保険料	184	△6.4%	197
解約・失効率	1.34%	△0.16ポイント	1.51%

（注）解約・失効率は、契約高ベースで、年換算していない数値として算出しています。

○ 総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期差	第1四半期累計期間
13月目総合継続率	93.8%	0.4ポイント	93.4%
25月目総合継続率	86.4%	3.9ポイント	82.5%

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

2. 収益性指標

- ◇ 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等により、870億円と前年同期差250億円の増加

○ 基礎利益 （単位：億円）

	平成23年度		平成22年度
	第1四半期累計期間	前年同期差	第1四半期累計期間
基礎利益	870	250	620

3. 健全性指標

- ◇ ソルベンシー・マージン比率は、資産運用リスクの圧縮等により1,173.9%と前年度末から17.1ポイント上昇し、引き続き1,100%を超える支払余力を確保。なお、新基準についても688.3%と前年度末から24.7ポイント上昇
- ◇ 一般勘定資産全体の含み損益についても、1兆3,392億円と前年度末から623億円の増加

○ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,173.9%	17.1ポイント	1,156.8%
ソルベンシー・マージン総額 (A)	33,578	340	33,238
リスクの合計額 (B)	5,720	△ 25	5,746

(注1) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

(注2) 平成23年度第1四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

《ご参考》 新基準によるソルベンシー・マージン比率

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末差	
新基準によるソルベンシー・マージン比率	688.3%	24.7ポイント	663.6%

(注) 平成23年度末から適用される法令等を適用したと仮定し、平成23年度第1四半期会計期間末は、当社が合理的と判断する方法で算出しています。

○ 実質純資産額

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末差	
実質純資産額	34,214	△ 9	34,223
一般勘定資産に対する比率	12.8%	△ 0.1ポイント	13.0%

(注) 平成23年度第1四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

《ご参考》 内部留保等十追加責任準備金

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末差	
内部留保等十追加責任準備金	19,276	275	19,000

○ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第1四半期会計期間末	前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	13,392	623	12,768
うち時価のある有価証券 (注)	10,769	593	10,176
うち公社債	5,129	2,179	2,950
うち株式	5,958	△ 1,698	7,656
うち外国証券	△ 448	87	△ 535

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

○ 国内株式含み損益ゼロ水準

	平成23年度 第1四半期会計期間末	平成22年度末
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合		
日経平均株価ベース	7,100円程度	6,900円程度
TOPIXベース	610ポイント程度	620ポイント程度
株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合		
日経平均株価ベース	7,100円程度	6,800円程度
TOPIXベース	610ポイント程度	610ポイント程度

4. その他

東日本大震災による保険金等の支払見込額は188億円（うち、支払額は累計で91億円）

以上